

milk

知識情報・図書館学類誌

No.22
July
2023



- └ としょかん探訪記 石川県立図書館編
- └ 江戸の食卓
- └ テレビの黎明期と大河ドラマ
- └ つくばでアートの旅

milk

知識情報・図書館学類誌

MILK 編集部員募集中！

知識情報・図書館学類生であれば誰でも歓迎します。

私たちと一緒に学類誌「MILK」を作ってみませんか？

ミーティングは毎週1回

興味がある方はぜひ Twitter の DM まで！

HP:<https://milk.klis.tsukuba.ac.jp/>

Twitter:@KLISMILK

表紙：小松 撮影：畠山
協力：石川県立図書館

ChatGPT にMILKのこと聞いてみた

※2023年6月13日現在 GPT3.5による回答の一例です。

ChatGPT君！ 学類誌MILKについて教えて！

おっしゃる「学類誌MILK」は、筑波大学の知識情報・図書館学類の学生が制作している学生雑誌です。以下に、一般的な学類誌の特徴や内容について説明しますが、具体的な「MILK」に関する情報は、私の知識範囲外の可能性があります。

MILKでは、編集部員が興味を持ったことについて
自由に記事を書いています！

学類誌は、大学の学生が編集・発行している雑誌であり、**その学類や学科に関するさまざまなおもしやることについての記事や情報を提供します**。学類誌は、学生たちの研究成果やアカデミックな関心事、イベントや活動の告知、学生同士の交流促進など、多岐にわたる内容を取り扱うことがあります。

具体的に「MILK」についての情報を提供するためには、以下の情報源を参照することがおすすめです。

知識情報・図書館学類のHPから
MILKのサイトに飛ぶことができます！

1. 筑波大学のウェブサイト：筑波大学の公式ウェブサイトや知識情報・図書館学類のウェブページにアクセスし、学類誌に関する情報を探してみてください。そこには、MILKの最新号やバックナンバー、編集・発行のスケジュール、投稿方法などの情報が記載されている可能性があります。

MILKのHPでは最新号からバックナンバーを公開中！！

編集部メンバーの自己紹介も載ってます！

筑波大学附属図書館のHPに
MILKの情報はありませんでした…

2. 図書館や学生会などの公式情報源：知識情報・図書館学類の図書館や学生会のウェブサイト、掲示板、SNSアカウントなども参考になります。そこで、学類誌に関する公告や連絡事項を確認してみてください。

3. 学生や教員との交流：知識情報・図書館学類の学生や教員と直接コミュニケーションを取ることも情報収集の方法の一つです。授業内や学生会のミーティングなどで、MILKに関する情報を尋ねることができるでしょう。

編集部に興味のある方、質問がある方、どなたも
まずはMILKのTwitterアカウントにDMください！

以上の情報源を活用して、具体的な「MILK」に関する情報を入手してください。



No.22
July,2023

知識情報・図書館学類誌 MILK とは？

M Management
I Information
L Library
K Knowledge

2007年の創刊以来、学類生ならではの目線で学類生に有益な情報を
年2回(7月・12月)お届けしています。

CONTENTS

としょかん探訪記

石川県立図書館編 03

江戸の食卓

06

テレビの黎明期と大河ドラマ

09

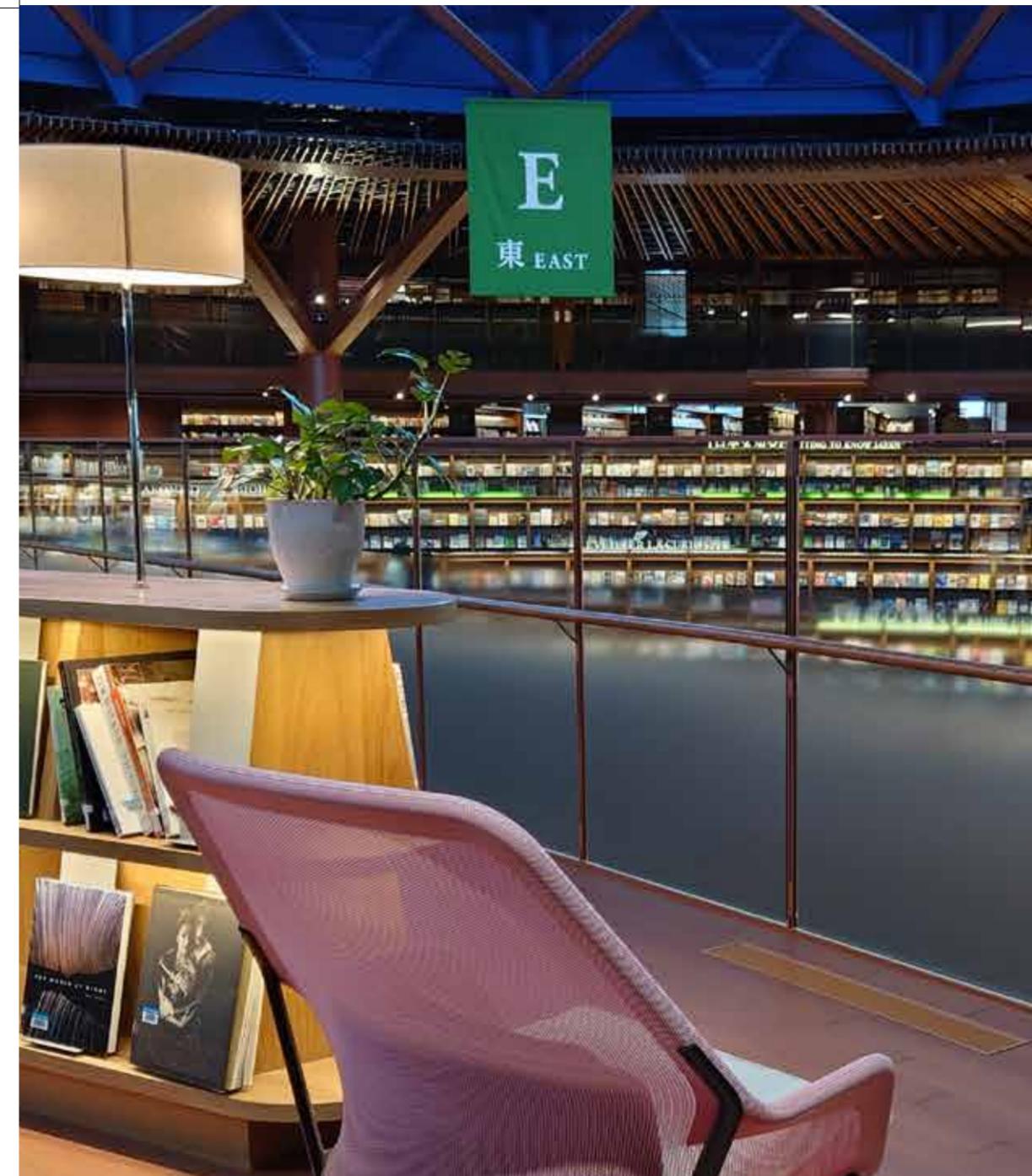
つくばでアートの旅

11

編集後記

14

石川県立図書館



としょかん探訪記

石川県立図書館は、旧館の老朽化のため2022年7月に移転・新築された県立図書館である。外観とエントランスこそ落ち着いたデザインだが、いざ自動扉をくぐると「本当に県立図書館なのか!」と驚嘆するほど開放的で荘厳なフロアが広がる。1階から4階まで吹き抜け、円形のフロアにずらつと本が並ぶ内装は大英図書館と高級ホテルをかけ合わせたような印象を抱く。まさに「本好きが夢見た空間」を体現したかのような図書館だが、それにとどまらない、利用者に本を活用してもらうための工夫がいたるところに垣間見えた。

(担当:田中 撮影:畠山)



知識情報・図書館学類誌 MILK



▲上:1階 里の恵み・文化の香り～石川コレクション
下:4階 リング 本の歴史を巡る
一日だけではとても回りきれない

興味から利用へ

石川県立図書館には「見学おすすめコース」が用意されている。図書館に見学コースが用意されること自体異例だが、本館は日常的な利用者に加えて新規利用者の獲得に積極的であることがうかがえる。

入館時まず目に飛び込んでくるのは『本との出会いの窓』と『里の恵み・文化の香り～石川コレクション～』の常設展示だ。

『本との出会いの窓』では十二のテーマを用いて、絵本から料理本まで様々な本を展示。普段図書館あまり利用しない人に向けて本の魅力を伝えている。『石川コレクション』では「あみだす」「はぐくむ」といった六つのテーマを軸に石川県の誇る伝統文化や自然に関する本と現物資料を展示。付随するデジタル書架は検索機としても機能する。図書館の入口にある常設展示は文字通り本への入口の役割を果たしている。

常設展示から一步進めば、円形に配置された開架書架がお出迎え。『本と出会う十二のテーマ』では厳選された約七万冊の書籍が、子育て、仕事、スポーツなど身近な十二のテーマにグループ化される。

『本と出会う十二のテーマ』では、各棚には必ず閲覧席が設けられているため、興味を持った本をすぐに閲覧できる点も非常に嬉しい。さて、新規利用者が次に向かう場所はブリッジ（三階）とリンク（四階）だ。図書館を縦断するブリッジから全体を一望できるのはもちろん、ブリッジ上にも本棚と閲覧席が用意されている。チア、スタンドライトに観葉植物まで、ここが県立図書館であることを忘れてしまいそうだ。リングは『本と出会う十二のテーマ』のうちの一つ、「本の歴史を巡る」を担う回廊型の書架だ。

本・図書館の歴史からはじまり、欧州や日本での出版の歴史が組みを通じて展示されている、本学類の学生にとって非常に魅力的な空間だ。

以上のように、石川県立図書館は興味を持つてもらうための仕組みが非常に充実している。エントランスから見える範囲のほぼ全こが「魅せる図書館」として扱われているのだ。



▲資料情報票
館内が広く、東西南北でエリア分けされているため、蔵書探索には慣れが必要そうだ

読書体験ができるることは間違いないようだ。

例えば小川洋子著「博士の愛した数式」は二階文学棚ではなく、四階リングに配架されている。QRコードを用いたマップ付き配架案内も添付されているが、直感的な図書探索が困難で、場合によっては図書館中を歩かなければならぬ点において不便ともいえる。いずれにせよ、県立図書館によって今までにない図書館・

MLA施設としての図書館

近年、博物館・文書館・図書館の要素を併せ持つMLA複

合型施設が注目を集めているが、本館もその例に漏れない。一階には前述の『石川コレクション』に加えて、ブックリウムというアート展示室が設置されている。加えて各エリアに

は石川県が誇る伝統工芸品の数々が展示され、閲覧席の椅子も県の職人の手によって制作された地域愛の溢れる配置になつてゐる。四階のリングも含めれば、「魅せる」エリアは同時に地域史料、美術、歴史館的役割をも担つてゐるといふだろう。

約をすることで誰でも資料の閲覧が可能となつていて。調べもの「テスク（レファレンスカウンター）で歴史公文書の受付を設置していることから、文書館としての活動にも力を入れていることがわかる。

れ、市民への貸出やイベントを開催していることから公民館的な役割も果たしているようだ。

ここまで、「魅せる」「使う」図書館をテーマに紹介してきた。ここからは市民が図書館でできることを中心に紹介していく。

公共図書館探訪において外せない「こどもエリア」。明るく広々とした空間にはハンモックを使った遊具や屋外で本を楽しめる「おはなしの森」、対照的に静かで落ち着いた「おちつきのへや」が用意されている。子どもたちが好きな場所で好きな本を読める、夢のような場所だ。

つづいて書籍以外の図書資料についても注目したい。仕切りで区切られた視聴覚コーナーでは映像資料とともに国立国会図書館歴史的音源（れきおん）やナクソス・ミュージック・ライブラリーといった音源・音楽データベースにアクセスできる。また三階に設置された専用の検索機からは新聞・官報データ

ターベースや国立国会図書館の「デジタル資料にアクセス可能だ。調べものデスクの隣にはマイクロフィルムリーダーも設置されている。

資料の次は体験「一ナード」「食文化体験ベース」は、料理教室やワークショップとして利用できる貸しスペースである。

The image shows a vertical calligraphic piece. The main character '卓' (Zhuo) is written in a bold, expressive brush style at the top. To the left of the main text, there is vertical text reading '担当小松' (Taikō Kohzo). To the right, there is vertical text reading '一品 まず' (Ippin mazu), which likely refers to a signature or date.

一品目は『料理珍味集』より、「白田樂」だ。
まずはレシピを読んでみる。

豆腐一ねのことく田樂にして味噌胡麻のあぶらにてときやかぬ豆腐にぬりて焼くなりみそこげず内へ火通る也

今回の記事では、江戸時代の料理を作ることに挑戦した。筑波大学附属中央図書館で調べてみると、江戸時代の料理文獻をまとめた本が多く見つかった。内容を見てみると、料理の作り方だけでなく、献立を記録したものや、イラストを用いて食器や調理器具を説明したものなど、料理に関する様々な情報がまとめられていた。現代ではなかなか食べない小鳥を使ったレシピや、もやしの栽培方法、粉こしょうを早く粉にする方法、キジを捌くところから始まるレシピなどが並んでおり、眺めているだけでも面白い。その中から、食材や調理法が現代でも再現可能なものの、そして、筆者の料理スキルで作れそうなメニューを選んだ。

実際に調理したのは、次の三品だ。

お品書き

白田樂
袋茄子
砂糖麩

レシピは全て、『日本料理秘伝集成』シリーズの第十四巻『珍味と地方料理・漬物秘伝』より参照した。この本は、『料理山海郷』など七種の料理文献の翻刻文、現代語訳がまとめられたものだ。ここで本記事は、読者が同じレシピを再現できることを目指したものではない点にご留意いただきたい。あくまで筆者の体験談としてお楽しみいただければ幸いである。

一、白田樂

一品目は『料理珍味集』より、「白田樂」だ。まずはレシピを読んでみる。

豆腐つねのごとく田樂にして味噌胡麻のあぶらにてときやかぬ豆腐にぬりて焼くなりみそげず内へ火通る也

白田樂

どうやらごま油を混ぜた味噌を塗って豆腐田樂を作るようだ。味噌が焦げずに焼けるから「白田樂」というらしい。気になるのは「豆腐つねのごとく田樂にして」という書き出し。当時の人々にとつて田樂が身近な料理であつたことが伝わる。しかし筆者にとつては、田樂を作るのは初めてのこと。一抹の不安を感じるが、とりあえず作ってみようと思う。

い、豆腐の水を切り、六等分する。

豆腐一丁をキツチンペーパーで包み、重しを置いてしばらくおいた。水が切れたら、厚さが半分、幅が三分の一になるように包丁で切る。

ろ、味噌とごま油を混ぜる。

レシピには分量がまったく記載されていないので、目分量で混ぜていく。とりあえず味噌に油が滲んで、光沢がみられるくらいまでごま油を加えて混ぜてみた。

A cartoon illustration of a frog standing on its hind legs, wearing a tall white chef's hat. It is holding a black frying pan with a wooden handle in its front paws. The frog has a small tuft of hair on its head and is looking towards the right.

味噌とごま油を混ぜる。
レシピには分量がまったく記載されていないので、目分量で混ぜていく。とりあえず味噌に油が滲んで、光沢がみられるくらいまでごま油を加えて混ぜてみた。

内へ火通る也

A photograph of a modern lecture hall or theater. The seating consists of wooden steps with yellow and white padded benches. The ceiling is dark with recessed lighting, and the walls are light-colored. The perspective is from the back of the hall, looking towards the front stage area.

▲ 1Fだんだん広場
その他研修室や食文化体験スペースは貸しスペースとして開放されている(予約・使用料あり)



▲モノづくり体験スペース
画像左側手前から、レーザーカッター、
3Dプリンター、UVプリンター

県立図書館で、できることがあります。
見て、読んで、体験して、学ぶ。

九時～十二時／十三時～十七時／十八時～二十一時（土日祝を除く）の時間帯で予約利用ができる。モノづくり体験スペースでは工作機器を用いたモノづくり体験ができる。レーザー加工機に加え、UVプリンターや3Dプリンターを利用できるのだから驚きだ。図書館はもはや情報探索の場所に收まらない。

最後に、併設されたカフェ「HUM&GO#」を紹介する。県内で展開する「HUM&GO#」は石川県立図書館では図書館ブренд「コーヒーを楽しめる他、定期的にワークショップやイベントを開催。文化交流エリアであれば館内へコーヒーを持ち込むこともできる。

石川県立図書館の探訪を終えて

A wide-angle photograph of the National Museum of African American History and Culture. The building features a long, low profile with a dark brown, textured facade. Large windows are positioned along the right side, and a prominent red metal roofline extends over the entire structure. The museum is set against a clear sky and is surrounded by a paved plaza and some bare trees.

▲石川県立図書館 外観
石川県立図書館の職員方、撮影の許可、
記事にご協力いただきありがとうございました。

石川県立図書館
〒920-0942 石川県金沢市小立野2丁目43-1（金沢駅から石川県立図書館／崎浦・県立図書館ゆきのバスが運行）
<https://www.library.pref.ishikawa.lg.jp/>
開館時間 火～金：8時30分～21時30分
土日祝：8時30分～18時30分（月曜定休日）

は、豆腐を焼く。

フライパンで豆腐を焼いていく。ここで「やかぬ豆腐にぬりて焼くなり」とあるにも関わらず、味噌を塗る前に焼き始めてしまった。でもちょっと美味しそうになってしまった。

に、味噌を塗り、焼く。

味噌を塗っていく。今回は、せっかくなので田楽味噌（味噌、酒、みりん、砂糖を煮詰めたもの）も作って塗つてみることにした。白田楽は本当に焦げないのか確かめるため、二種類の味噌を豆腐に塗り、オーブントースターで焼いてみる。結果は左の写真的通りになつた。右三つが田楽味噌、左三つが白田楽の味噌だ。

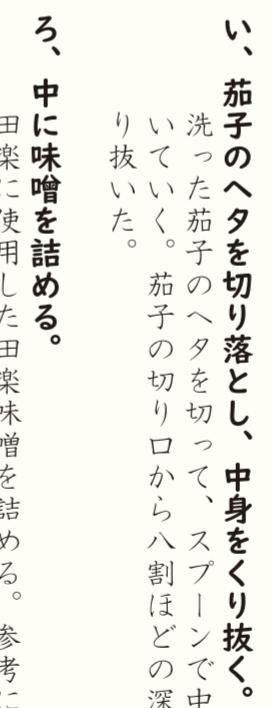


二、袋茄子

続いては『料理海山郷』より、「袋茄子」を作っていく。レシピはこちら。

袋茄子

大きなすびへたを切りて切口よりなすびの内をくり味噌を入みそは鋸々の好にまかせて何味噌にても入切口へ葛の粉を引てふたをして干瓢にてよくくくり水へ醤油ずいぶん少し入よく煮る汁汲山になすび浮ほど仕かけるがよし



い、茄子のへタを切り落とし、中身をくり抜く。

田楽と比べると手順が多く、少し手間がかかりそうだ。早速作っていく。茄子の切り口から八割ほどの深さまでくり抜いた。

ろ、中に味噌を詰める。

田楽に使用した田楽味噌を詰める。参考にした『日本料理秘伝集成』において、「…肉詰めにして煮るといしい。」とあつたので、肉味噌も作ってみた。葛の粉が手に入らなかつたので、今回は片栗粉で代用了した。この時、筆者がへタで蓋をするものと勘違ひしていたため無駄に苦戦してしまつた。（全て作り終えて記事を書いている時に勘違いに気づいた。）

味は、想像通りの豆腐と味噌の味だった。田楽味噌の方は、なんと白田楽の方が焦げてしまつた。どうやらごま油の量が足りなかつたようだ。どちらも焦げ目がついて美味しそうである。

ほ、完成

なかなか存在感のあるものが出来上がつた。田楽味噌の方は、なんと白田楽の方が焦げてしまつた。どうやらごま油の量が足りなかつた。白田楽は、ごま油の香りが香ばしく美味しかつた。

ほ、完成

なかなか存在感のあるものが出来上がり、湯に少し醤油を入れ、味噌を詰めた茄子を茹でる。

ほ、完成

なかなか存在感のあるものが出来上がり、湯に少し醤油を入れ、味噌を詰めた茄子を茹でる。

三、砂糖麩



最後は甘味（？）。同じく『料理海山郷』より、「砂糖麩」だ。



↑ 完成した「袋茄子」肉味噌を詰めたものは皮を一部剥いた。



↑ 完成した「袋茄子」



↑ 完成した「砂糖麩」

江戸時代の料理を作つてみて

江戸時代と現代では、手に入る材料や調理器具に違いがあり、再現できるものに限りがあると感じた。味はどれも素朴で優しい味わいだった。レシピに分量が書かれていないものが多かつたが、当時の人たちはこれを読んで同じものが作れたのか疑問に感じた。再現性が低いレシピは、レシピとして機能しているのだろうか。現代の動画付きレシピのありがたみを感じた。

「うどんのこ」は小麦粉のこと。一人暮らし初めての揚げ物が江戸時代のお菓子になるとは思いもしていなかつた。それでは作つていく。

小麦粉、砂糖、豆腐、甘酒を混ぜてこねる。

例によつて分量がわからないので、目分量で混ぜる。

参考文献

奥村彪生編 珍味と地方料理・漬物秘伝 株式会社同朋舎 出版・1985. 291p. (日本料理秘伝集成・二)

大河ドラマ第一作 「花の生涯」

「大型娯楽時代劇」放送までの長い道のり

世間から娯楽の要素を強く求められるようになったテレビ業界は、映画に対抗できる大型エンターテインメントを生み出そうとした。そして、大河ドラマ第1作目となる大型時代劇「花の生涯」の制作が始まった。当時のNHKはようやく1話完結の1時間ドラマを作ることが可能になつた状況で、連続ドラマは1話30分が基本だった。そのため、1話45分の大河ドラマ制作は無謀なプロジェクトであった。

キャスティング、そして撮影

キャスティングにも苦労があった。映画界では、松竹・東映・大映・東宝・新東宝の映画5社が協定を結び、映画スターをドラマに出演させないことを申し合わせたのだ。しかし、NHKの責任者は当時映画界の大スターであった佐田啓二の自宅まで訪れて出演を説得した。佐田は敵対関係にあったテレビの将来に希望を託して出演を決め、五社協定は事実上崩れた。そのため「花の生涯」には、映画スターが数多く出演した。

撮影に入ると、主演の尾上松緑は歌舞伎の公演が終わってからの夜の12時から朝5時までの撮影、撮影時間以外は打ち合わせや編集など、過酷なスケジュールの中、撮影が行われた。このような長時間撮影のスケジュール管理や、同じセットを使うシーンを何話分もまとめて撮る、回転セットを用いるという工夫を行い、撮影の効率化がなされた。また、「花の生涯」では、テレビドラマで初めて美術、衣装、小道具、セリフ等の時代考証がつけられた。

スタジオを飛び出し、オープンセットの撮影へ

クライマックスの桜田門外の変を撮影するには、桜田門の巨大なセットと雪の中の暗殺シーンを撮るだけの広大な敷地が必要だった。そこで、京都市にある東映京都撮影所のオープンセットを借りることになった。東映城は数々の時代劇映画が作られていたが、東映側は、下に見ていたテレビ製作であるNHKに貸すことは利敵行為になりかねないと考えた。しかし、NHKスタッフが1週間撮影所に通い詰め頭を下げ続けた結果、東映は根負けし、しばらくして撮影の許可が降りた。

桜田門の撮影は、二条城大手門をモデルに作られた東映城の大手門を使用した。実際の撮影は雪が降っていない時期に行つたため、雪を表現するために屋根の瓦を白く塗ったり地面には白い布を敷いたりした。

こうして、映画界とテレビ界の垣根を超えた撮影が行われた。

大ヒットと大河ドラマのレギュラー化

努力や創意工夫のおかげで、「花の生涯」の平均視聴率は20%で風呂屋が空になると言われるほどの人気を博した。その結果、レギュラー枠として固定し、毎年制作するという流れになった。

「花の生涯」は「大型娯楽時代劇」として放送を開始したが、第2作「赤穂浪士」からは、"人の生涯を描く大河小説"になぞらえて、読売新聞が「大河ドラマ」と呼び始め、定着し、今は誰もが知るような定番のドラマになった。

「花の生涯」とは？

- 全39話
- 1963年4月から12月まで放送
- 幕末の大老・井伊直弼とその家臣・長野主膳、三味線の名手で美女の村山たかの関係を展開しながら井伊直弼の半生を描いた
- 主演・井伊直弼役は歌舞伎界の大物二代目 尾上松緑
- 台本は全て現存
- 映像が丸々残っているのは第一話のみ
- 第37回「君消ゆる」は最高視聴率(視聴率30%超)を記録

テレビの黎明期と大河ドラマ

2023年2月1日、1953年にNHKがテレビの本放送を開始してから70年を迎えた。

この記事では、テレビの黎明期の様子と、大河ドラマ第一作目の「花の生涯」について紹介する。

(担当:岸岡)

テレビ黎明期の様子

テレビ誕生

1939年5月、NHKは日本初のテレビ公開実験を実施した。戦争による中断を経て1948年に戦後初の公開実験を実施し、1953年2月1日、本放送を開始した。

一方、当時映画は「娯楽の王様」と言われ、映画業界はテレビを「電気紙芝居」と呼び、軽視する風潮が強かつた。このテレビ対映画の確執が大河ドラマ誕生の要因の一つとも言われる。

しかし、報道性とスピードを持つテレビは、後に非常に大きな力を持つこととなった。テレビ放送が開始されて数年経った1955年をピークに映画館入場者数は減少し、映画界に大きな影響を与えた。

ドラマが生放送！？

テレビの本放送が始まる前の実験放送時代である1940年、日本で最初のテレビドラマ『夕餉前』が実験的に放送された。このドラマは、結婚を控えた娘と母、兄の日常を描いたホームドラマであった。実験放送時代は、カメラの感度が悪く、照明に膨大な光量を要した。そのため出演者は髪が焦げ、カツラやセットの一部は燃えたという逸話が残っている。

また、1960年にVTRが登場する前までは録画技術がなかったため、ドラマは生放送で撮影されていた。本放送が始まった4日後に放送された『山路の笛』は、2台のカメラの切り替えによって生放送された。1台のカメラが場面転換やアングル変更のために移動した場合、もう1台のカメラは時間稼ぎとして撮る必要のない映像を収め続け、その間に役者の着替えやメイクを行つた。

出演者も制作人も失敗が許されない生放送ならではの出来事もあった。出演者はセリフを忘れても良いように、服やセットである新聞などにカンペを用意していた。生放送中にセットが壊れるというハプニングも発生した。

NHKは1953年に4つの時代劇に挑戦する。そして、ドラマはたちまち人気番組となった。1960年からはカラー放送が始まり、この頃からVTRやフィルムを全編で使つたドラマが多く生み出されていく。

参考文献

春日太一. 大河ドラマの黄金時代. NHK出版, 2021, 408p.

星亮一, 一坂太郎. 大河ドラマと日本人. イースト・プレス, 2015, 351p.

NHK出版編. NHK大河ドラマ大全50作品徹底ガイド完全保存版. NHK出版, 2011, 208p.

北浦寛之. テレビ成長期の日本映画—メディア間交渉のなかのドラマ. 名古屋大学出版会, 2018, 312p.

NHKテレビ70年記念ドラマ「大河ドラマが生まれた日」2023年2月4日放送

NHK. “大河ドラマ花の生涯”. NHKアーカイブス.

https://www2.nhk.or.jp/archives/movies/?id=D0009010103_00000 (参照 2023-5-30).





つくばでアートの旅



「アート」と聞くと、静寂の中で作品を鑑賞するような、堅苦しいイメージをお持ちの方も多いはず。そこで、今回はつくば市内にある、美術館に行かずとも鑑賞できるアート作品を紹介する。どれも大学や駅からほど近いため、在学中に一度訪れてみてはいかがだろうか。（担当：大橋）

未来を見る



駅前にそびえ立つ巨大なモニュメント。これは筆者も敬愛して止まない岡本太郎氏の作品である。『未来を見る』は、1985年に筑波研究学園都市で開催された国際科学技術博覧会「科学万博つくば'85」を記念して製作された。博覧会終了後は会場跡地に展示されていたが、2005年のつくばエクスプレス開業を機に、万博記念公園駅の駅前広場に移設された。

▶アクセス：つくばエクスプレス「万博記念公園駅」すぐ



◀すぐそばにある青と白の顔をモチーフにした作品も岡本氏が手掛けたもの。

未来への道

春日エリア近くのつくば市中央公園には、多くの記念碑、記念像が存在することをご存じだろうか。「未来への道」にはつくば研究学園都市50周年を記念し、つくばゆかりのノーベル賞受賞者のモニュメントが設置されている。

▶アクセス：つくばエクスプレス「つくば駅」すぐ



◀『江崎玲於奈博士－子供たちと』
江崎玲於奈（えさきれおな）博士は、1973年にエサキダイオードの発見によりノーベル物理学賞を受賞した。筑波大学学長も務めた人物。

▼『散歩する朝永振一郎博士』（左）と『未来の台座』（右）

朝永振一郎（ともながしんいちろう）博士は、量子電磁力学の基本的な定式化の功績により、1965年にノーベル物理学賞を受賞した。また、教育者として多くの優秀な研究者や教育者を育て、その遺徳は筑波大学へと引き継がれている。『未来の台座』はこれから活躍する者のためにあり、上に像ではなく台座のみが置かれている。



アートに興味があり、身近な作品を紹介したいという思いから始まった今回の記事。作品の名前には、どちらも「未来」という言葉が含まれている。これは意図したものではなく、記事の執筆中に気がついたことだ。つくば市が、偉大な先人たちに思いをはせるとともに、未来へ思いを巡らせることができる素敵なお街だと気づくことができた。記事をきっかけに、読んでくださった方々のこれから的生活が少しでも明るいものになつたらうれしい。



「知識情報・図書館学類誌 MILK」Web公開中。
過去のバックナンバーもご覧いただけます。
<https://milk.klis.tsukuba.ac.jp/>
ご意見・ご感想お待ちしています！

編集後記



ゼルダの伝説 ティアーズ オブ ザ
キングダムがついに発売！
(田中大陸・3年)



美味しいものはいつの時代も人を
幸せにする
(小松史乃・3年)



自分の好きなことを記事にするの
は楽しいです！
(大橋桃香・2年)



初めて1人で記事を書きました。
大変だったけど楽しかった！
(岸岡あや・2年)

Credit

知識情報・図書館学類誌 MILK 第22号

- 発行者 鈴木伸崇(知識情報・図書館学類長)
- 発行日 2023年7月18日
- 編集長 田中大陸
- 編集部 田中大陸 小松史乃 大橋桃香 岸岡あや
- 協力 石川県立図書館
畠山紘輔(図書館内写真提供)
岡本太郎記念館
つくば市建設部道路管理課占用・査定係 建設部 公園・施設課／政策イノベーション部
科学技術振興課 科学の街推進係



知識情報・図書館学類誌

編集部員募集中！

M anagement
I nformation
L ibrary
K nowledge

知識情報・図書館学類誌MILKは
知識生による、知識生のためのフリーペーパーです！
最新号は7B棟学生用掲示板前にて絶賛配布中！
バックナンバーはホームページで公開中です！

MILKでは現在、MILKの記事を執筆する編集部員を募集中！
執筆は初めて…デザイン初心者…もちろん問いません。
あなたの関心事を、klis生らしさ全開で、記事にしちゃいましょう！

活動を覗いてみたい
そんな方は是非TwitterのDM、もしくはメールでお知らせください。
いつでも大歓迎です！

ホームページ：<https://milk.klis.tsukuba.ac.jp/>



HP

Twitter:@KLISMILK



Twitter

Mail：milk-ml@klis.tsukuba.ac.jp